建設ふくしまニュース
CONSTRUCTION FUKUSHIMA NEWS
2023 7 No.85
発行　福島県建設技術協会
編集部

令和５年度福建通常総会を開催

令和５年度福島県建設技術協会通常総会は、６月に書面で開催しました。

令和４年度事業及び収支決算報告並びに会計監査報告、令和５年度事業計画及び予算について審議が行われ、原案のとおり承認されました。

◆ 令和５年度 役員 ◆

令和５年度役員は、規約に基づき前役員より推薦いただいた次の方々が選出されました。

会　長	福島県土木部次長(都市担当)	大竹　和彦
副会長	福島県土木部河川計画課長	唐橋　　薫
	福島県土木部建築指導課長	村上　金彦
	福島県いわき建設事務所長	吉田　伸明
	福　島　市　建　設　部　長	車田　和昭
会　計 幹　事	福島県土木部まちづくり推進課長	鈴木　義弘
	福島県喜多方建設事務所長	佐藤　研一

◆ 令和５年度 事業計画 ◆

令和５年度事業計画が以下のとおり承認されました。

１．組　織　部

（1）会員名簿の作成
（2）全建長期会員表彰者の推薦
（3）福建会員管理
（4）会員顕彰
（5）福建「功労賞」表彰
（6）東北地区建設技術協会連合会　広報・技術研鑽奨励賞の報告

２．調　査　部

（1）技術力向上に関する支援
　技術資格取得支援金、体験記謝礼等

３．事　業　部

（1）方部別助成
　方部別開催事業の助成、震災復興に関する活動
（2）文化事業方部助成
　地域貢献、ボランティア活動への助成

４．編　集　部

（1）機関誌発行
　建設ふくしま №144 の発行
　建設ふくしまニュース №85 の発行（ＨＰ掲載）

５．研　修　部

（1）ふくしまの未来を拓く業務発表会

６．事　務　局

（1）全建主催　実地研修会（いわき市）
（2）全建主催　建設技術講習会（福島市）
（3）東北地区連合会　R5総会、R4表彰式
（4）「伝承プロジェクト」の実施

◆ 令和４年度 全建表彰 ◆

（令和４年度役職）

１．小沢賞
　益子　公司　　福島県土木部技監

２．東北地区建設技術協会連合会　会長賞
　諏江　　勇　　福島県土木部次長(企画技術担当)
　矢内誠一郎　　福島県土木部次長(河川港湾担当)
　服部　雅道　　福島県土木部次長(都市担当)
　大竹　健義　　福島県土木部次長(建築担当)

３．全建功労賞
　宗像　誠也　　福島県県中建設事務所長
　田母神秀顕　　福島県土木部営繕課長
　小林　英俊　　会津若松市建設部長

全　建　賞　受　賞　報　告

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（道路部門）〕

＜事 業 名＞　**国道２５２号本名バイパス整備事業**

＜受賞機関＞　**福島県会津若松建設事務所**

事業区間の7割をトンネル及び長大橋が占めるバイパス整備。モルタル吹付と支保工建込み作業を同一機械で実施するなどトンネル施工の合理化を図るとともに、積極的な住民見学会の実施により地区内外の住民の理解を得ながら事業を完成し、屈曲線形や幅員狭小といった現道の課題を回避できるバイパス道路を整備した。

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（道路部門）〕

＜事 業 名＞　**ふくしま復興再生道路**
国道３９９号十文字工区　道路改良事業

＜受賞機関＞　**福島県いわき建設事務所**
国土交通省東北地方整備局　磐城国道事務所

原発避難解除等区域の復興を担う幹線道路を、国と福島県の役割分担により整備した道路改良事業。BIM／CIMによる設計の可視化や無人航空機による土量管理といった新技術の積極導入や、既往技術の創意工夫を重ねるなど施工の合理化・効率化を推進し、事業を完成させた。

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（道路部門）〕

＜事 業 名＞　**ふくしま復興再生道路整備事業**
国道288号野上小塚工区

＜受賞機関＞　**福島県相双建設事務所**

原発避難解除等区域の復興を担う幹線道路の整備。令和元年東日本台風の影響により、トンネル低土被り部の沢地形に常時流水が確認されたため、学識経験者を招いた技術委員会を開催して対策工を検討し、厳しい地形条件のため人力施工による対策を講じながら、トンネルを供用させた。

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（道路部門）〕

＜事 業 名＞　**ふくしま復興再生道路整備事業**
国道114号山木屋工区　国道349号大綱木工区

＜受賞機関＞　**福島県県北建設事務所**

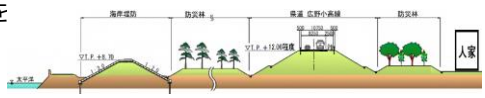
原発避難解除等区域の復興を担う幹線道路の整備。大半の住民が帰還できない中で、用地交渉を進捗させるとともに、ICT建設機械の自動制御及び遠隔臨場などを通じて施工の合理化・効率化を図りながら、事業を完成させた。

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（河川部門）〕

＜事 業 名＞　**津波被災地の復興まちづくり**
毛萱仏浜地区海岸・富岡川・県道広野小高線（毛萱工区）

＜受賞機関＞　**福島県富岡土木事務所**

海岸堤防復旧、道路改良、河川改修等による地域の防災力向上の取組。各事業の整備及び「防災林整備」による多重防御に加え、粘り強い海岸堤防構造による周辺住民の避難時間の確保と住民の速やかな避難（ソフト対策）により、想定を超える津波に対しても総合的な防災力の向上を図った。



全　建　賞　受　賞　報　告

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（建築部門）〕

＜事 業 名＞　**重点道の駅「道の駅ふくしま」整備事業**

＜受賞機関＞　**福島市**

道の駅の整備事業。県産材を使用した魅力的な空間を提供するとともに、防災拠点としての機能も合わせ持った復興のシンボルにふさわしい整備を実現した点や、生産者協議会の設立や、ツアー、シンポジウムの開催により地域の活性化に寄与することで新しい「地域振興拠点」の整備を実現した。

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（港湾漁場部門）〕

＜事 業 名＞　**東日本大震災で被災し最後に復旧した漁港、請戸漁港**

＜受賞機関＞　**福島県相馬港湾建設事務所**

平成２３年の東日本大震災による地震や津波により被災した請戸漁港の災害復旧事業。請戸漁港の漁業者は被災して集団移転し、また、跡地は居住制限区域に指定され、内陸地を保全する防災林として活用されることとなった。このことで、漁業者は通い作業を余儀なくされたことから、水産業共同利用施設の充実や漁具の保管場所が必要となり、町と連携して漁港施設と一体的に整備し請戸漁港の機能の強化を図った。

小　沢　賞　受　賞

福島県土木部技監　**益 子　公 司**　氏

昭和６１年に入会以来、協会員として積極的に協会の活動に参画され、常任委員や副会長を歴任し、事業の進捗及び協会の運営や発展に貢献されました。

建設行政においては、その卓越した行動力と指導力により建設行政に顕著な業績を上げるとともに、豊富な知識と経験をもって後進の育成に力を尽くされてきました。

特に、港湾行政においては、小名浜港や相馬港の港湾計画の策定に数多く携われたほか、特定埠頭運営事業による埠頭管理事務の合理化、効率化に尽力されました。東日本大震災からの復旧復興においては、港湾の応急復旧や輸送拠点機能確保による支援物資の円滑な輸送、さらには、石炭の安定的な輸送のため小名浜港の国際バルクターミナルへの進展に尽力するなど、港湾を核とした地域経済の復興に資する大きな役割を担われました。また、土木行政を分かりやすく発信し、多くの方に知ってもらうためにＳＮＳを活用した広報を導入するなど、先進的な取り組みを指揮されました。

事務局よりお知らせ

会費について

○正会員　月会費700円(全建320円＋福建380円)

○準会員　年会費(4月1日現在)80歳未満5,000円、80歳以上2,000円

納入方法は、「銀行振込」または「事務局へ持参」のどちらかでお願いしております。

■銀行振込■の場合

振込銀行口座：東邦銀行 県庁支店 普通口座 １７１９

福島県建設技術協会　会長　大竹　和彦

※手数料はご本人の負担となります。

※準会員の方は、必ずご本人のお名前でお振り込みください。

■事務局へ持参■の場合

事務局所在：県庁土木部道路整備課内　福島市杉妻町2-16

(本庁舎４階)事務局員 遠藤 季代子

福島県建設技術協会ホームページ

http://fukken.net

技術資格取得支援の情報や全建講習会リーフレットなど

■事務局■　福島県土木部道路総室

TEL 024-521-9820　FAX 024-521-7951

・事務局長　菊地　和良
(道路整備課 主幹兼副課長)

・副事務局長　木村　豪
(道路整備課 主任主査)

・書　　記　加澤　卓
(道路管理課 主査)

・会　　計　國分　恒司
(道路管理課 主査)

・庶　　務　佐藤　真一
(高速道路室 主査)

・総　　務　西之宮　楓
(道路計画課 技師)

・事 務 局　遠藤　季代子

■編集部■　福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511　FAX 024-521-7956